

「福まちだより」

第2号 通算8号

テーマ バリアフリーでみんなが笑顔のまちづくり

那覇市では、全ての市民が住み慣れた地域で、安心して暮らすことが出来るように、「福祉のまちづくり条例」のもと、取り組みを行っております。

心のバリアフリーを広げ、みんなが過ごしやすいまちを目指し、高齢者・障がい者への案内や対応方法を学ぶ「サービス介助セミナー」を実施。市職員・市民（企業含む）そして子ども向けです。今回は、その中から「子ども向けセミナー」のご紹介をいたします。

きっかけは 福まち推進員からの提案でした



福まち推進員
鈴木さん
(リッチモンドホテル)

バリアフリー教育の実施
これからは高齢化社会に向け、10年後を見据えた人材育成が重要。小中学生向けにバリアフリー教育を。

子ども達を対象に、「心のバリアフリーセミナー」をやしましょう！



福まち推進員
喜久里さん（脳文庫）

という意見があり、各学校へ通知を出し募集したところ、「ぜひ、うちの子ども達に！」という学校が2校ありました。

久茂地小学校

と

識名小学校

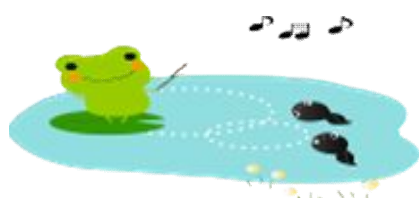
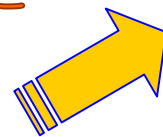
です

それぞれ 平成22年12月2日（木）

平成22年9月2日（木）

に実施しました

詳しい内容はこちら



福まちだよりに関するお問い合わせ先：那覇市福祉政策課地域福祉 GTEL862-9002 fax862-0383

こども(小学生)セミナー 「コミュニケーション発見隊！」

総合学習の一環としてサービス介助セミナーのこども版を開催。講師は福まち推進員でもある喜久里さん

識名小学校 5年生

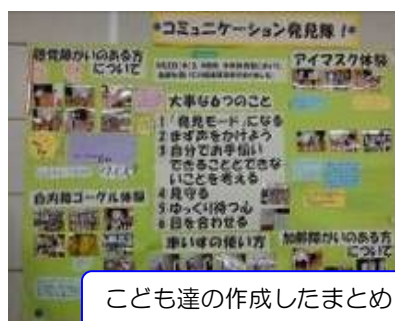
久茂地小学校 6年生

152名の参加。擬似体験のアイマスクと白内障は全員が体験し、車椅子・高齢者疑似体験などは、代表で行いました。担任の先生方の協力もあり、みんなメモを取りながら、一生懸命。様々な気づきの場となりました。

28名の参加。校長・教頭先生もデモンストレーションでご参加いただき、こども達も一人ずつ疑似体験。TVの取材に、緊張する場面もありましたが、保護者のご協力もいただき、高齢者・障がい者へのお手伝いや、コミュニケーションの方法を学ぶことができました。



白内障体験



子ども達の作成したまとめ

困っている人を見かけた時どうしよう・・・



※ 注意事項 ※
自分でお手伝いできるかどうか考える。
大人を呼ぶのも立派なお手伝いです。



アイマスク体験と誘導の方法



車椅子体験と操作方法



ほじょ犬について



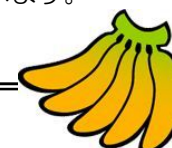
高齢者疑似体験

※このセミナーは、インストラクターの指導の下、注意事項等説明を受け、安全に配慮行っております。

心のバリアフリーコーナー 本のご紹介

バナナの本

こどもセミナーで紹介した本です。
色々な大きさや種類のバナナの絵が描かれています。「バナナです」というせりふが延々と続く、単純な本なのですが・・・。「な～んだ、ただのバナナが変な本」と思ったら大間違い、深～い意味があるのです。形や大きさが違って、色がビミョーに違って、皮をむくとみんな白くておいしいバ・ナ・ナ。人も同じで、身長や顔立ち、外見が違って、中身は心を持ったひとりの人。というメッセージが込められています。講師の方から子ども達に、「髪や肌の色が違って、みんな同じ人。それぞれが大切な命を一つずつ持っている」というメッセージを伝えていただきました。



現在、市内のバリアフリー調査を行っております。結果は随時更新中。市HP「バリアフリー情報マップ」を是非ご覧ください。<http://www.gis.city.naha.okinawa.jp/wemap/index.html>